

報道関係各位

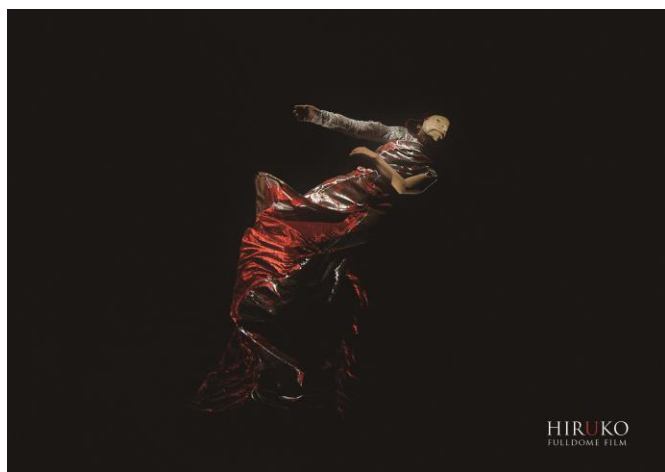
世界的に類を見ない、プラネタリウムで観る 没入型の Art & 映像作品

映像作家 飯田将茂 と、原初舞踏家 最上和子による
現代に失われつつある “何か” を伝えるアート作品

「ドーム映像作品 HIRUKO」

HIRUKO製作委員会（千葉県松戸市、代表 飯田将茂）は、本年5月9・14・16日の三日間に、ギャラクシティ内のプラネタリウム（東京都足立区）にてドーム映像作品「HIRUKO」の初公開となる一般上映を開催いたします。

HIRUKOとは、独自のアプローチにより国内外のプラネタリウムでドーム映像作品を発表してきた映像作家の飯田将茂と、身体の霊性を訪ね、芸能本来の姿の実現を目指す舞踏家の最上和子による、舞台や映画の枠組みを超えた全く新しい、観るだけではない体感型の映像作品です。



※映像からの切り出し画像

ドーム映像というジャンルそのものはまだ立ち上がって間もない上に、そこで作られる作品はエンタメ作品が多い中でも本作は珍しく芸術性に特化しています。さらに遥か古代のどこかにあったアニミズムやシャーマニズムの様なネイティブ的な感性・世界観とテクノロジーが結びついた、世界的にも類を見ない異色の作品に仕上がっています。そしてこの作品のタイトルである水蛭子（ヒルコ）という、日本の国生み神話の初期の神でありながらも、産み落とされた直後に捨てられてしまった神の名は、現代に失われ捨てられつつある “何か” を描いていくこの作品の、「身体」「霊性」「死と生」と言ったキーワードたちを隠喩し、現代社会の抱える課題に対して静かに問いかけていきます。

また360°カメラの出現により皆が目にする様になった全天周（球）映像と呼ばれる、フレームのない空間そのものを映す映像は物珍しいものでもなくなりつつあります。しかしこの作品の先進性はそれだけでなく、独特な撮影手法により暗闇に浮き上がり迫り来るそれは、まるで臨場感と没入感をもたらすVRの様でもありながら、かつて古代の人々が洞窟に壁画を描き祈祷した姿や、教会建築に描かれた見事な絵画に寄せられた神の出現を願う人々の想いに通じるところもあり、体感型と言い切れる理由はここにあります。

映画でもない、エンタメでもない、どこかの文化に確かに根付きながらも、新規性・社会性・希少性に富んだこの作品が、異界と精霊のざわめきと共に、より多くの人々の頭上に広がることを願っています。

※特定の宗教、思想を推奨・布教する作品ではありません。

【一般上映情報】

日程： 2019年5月9日（木） | 5月14日（火） | 5月16日（木）

場所： ギャラクシティ2F プラネタリウム
（〒123-0842 東京都足立区栗原1-3-1）

時間： 18:30～20:30

18:00 開場・受付
18:30 上映（約40分）
19:10 アフタートーク
20:30 終演

料金： 大人2,000円 子供1,000円（3～12歳）
※全席自由席
※2歳以下無料

その他： 全日程、上映後にアフタートークあり。
HIRUKOの深淵な世界観を創り上げたその想いを監督の飯田将茂と主演の最上和子が登壇し語ります。

※16日は特別ゲストで映画監督・演出家の押井守氏の登壇が決定しました！

一般上映に先駆けて、報道関係者様向けの試写会を開催致します。
お時間許す限りのご参加をお待ちしております。

【PRESS向け試写会のお知らせ】

日程： 2019年4月23日（火）

場所： ギャラクシティ2F プラネタリウム
（〒123-0842 東京都足立区栗原1-3-1）

時間： 18:30～

18:30 開場・受付
19:00 作品上映（約40分）
19:40 Q&A、取材対応時間

お申し込み： fulldome.hiruko@gmail.com（担当：木口）

※本作を創り上げた、飯田と最上に直接ご取材いただけます。
※一般上映日をご希望の場合は別途下記までご連絡下さい。

< 本件に関するお問い合わせ >

HIRUKO 製作委員会
プロデュース・広報担当 木口（きぐち）

Tell： 080-8707-0351
Mail： fulldome.hiruko@gmail.com
HP： <http://fulldome-hiruko.com/>